



※このコーナーでは、市内の風物詩・史跡などを紹介していきます。

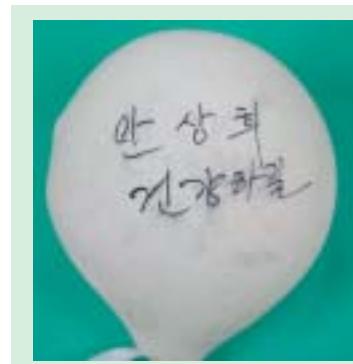


大ソテツ(能美町鹿川)

弘長年間（1261～1264年）に屋久島から持ち帰って植樹されたと伝えられています。

昔から人家や寺の境内などに植えられていましたが、根回りの周囲5メートルを超すものは多くありません。根回りの周囲約6メートル、高さ約5メートルで、県内有数の巨樹です。根元から大小6つの支幹に分かれ、独特の姿をしています。

昭和25年2月22日、県の天然記念物に指定されました。



ある日、「韓国語が書かれた風船が落ちてたよ」と連絡を受け、現場へ直行！見つかった風船は全部で3つ。1つは読みませんでしたが、残り2つには「2006」の数字が印字され、ハングル文字が手書きされていました。何を書いているのか分からぬと話していると、一緒にいた人が「それは『健康でありますように』って書いてあるんよ。」と教えてくれました。この風船は、遠く韓国で飛ばされ、はるばる江田島まで運ばれてきたのでしょうか。もしそうだとしたら、とても素敵なことですね。居合わせた人たちとあれやこれやと話が弾み、心温まる時間を過ごしました。

編集後記